

# 平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 交通政策課  
 担当名: 交通企画・バス担当  
 内線: 2232 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B43	地域公共交通活性化事業費		一般会計	総務費	企画費	企画調整費	地域公共交通活性化事業費	
事業期間	平成10年度～	根拠法令	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律		宣言項目	04	地域をつなぐ社会基盤の整備	
					分野施策	041041	便利で安全な公共交通網の充実	
1 事業概要			5 事業説明					
<p>誰もが快適で安心して公共交通機関を利用できるように公共交通のバリアフリー化を促進する。                  また、地域住民の生活の足として重要な路線バス等公共交通機関の維持・確保を図るとともに、利便性の向上や利用者増につながるような取組によって地域公共交通の活性化を図る。</p> <p>(1) バス利用促進事業費 △4,084千円                  補助対象事業費が見込みを下回ったことによる減</p> <p>(3) 元気なバス需要創出モデル事業費 △5,767千円                  補助対象事業費が見込みを下回ったことによる減</p> <p>(4) タクシーバリアフリー化促進事業費 △400千円                  補助対象事業費が見込みを下回ったことによる減</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア バス利用促進事業費 25,673千円                  ノンステップバス導入費の一部を補助する。市町村の担当職員向け検討会を開催する。</p> <p>(ア) ノンステップバスの導入支援 25,572千円                  (イ) 地域公共交通施策検討会 101千円</p> <p>イ バス路線維持対策費 89,344千円                  路線の確保を図るため、市町村等に対し、対象路線の運行費赤字分の一部を補助する。</p> <p>ウ 元気なバス需要創出モデル事業費 29,304千円                  高齢者をはじめとした公共交通への潜在需要を喚起するため増収につながる取組に係る経費を補助する。</p> <p>エ タクシーバリアフリー化促進事業費 83,000千円                  UDタクシー等車両導入費の一部を補助する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 超低床ノンステップバス導入費補助 7事業者 49両                  地域公共交通施策検討会の開催 2回</p> <p>イ バス路線の維持・確保 2事業者 8市町村 22路線</p> <p>ウ 路線バスの増収等の取組支援 5路線</p> <p>エ UDタクシー車両等の導入費補助 135両</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 路線バスの利便性、快適性を向上させ、路線バスの利用促進が図られる。</p> <p>イ 県民の最も身近な公共交通手段として日常生活の足となっているバス路線の確保が図られる。</p> <p>ウ 公共交通の潜在需要を喚起され、利用者増につながる。</p> <p>エ タクシーの利便性、快適性を向上させ、タクシーの利用促進が図られる。</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>ア・ウ・エ 補助対象事業費が当初の見込みを下回ったことによる減額</p>					
2 事業主体及び負担区分								
<p>(1) 国1/2(県1/4)市町村1/4・事業者0                  (2) (県1/2)・国1/2又は市町村1/2・事業者0                  (3) (県1/2)市町村1/2                  (4) 県補助定額</p>								
3 地方財政措置の状況								
バス路線維持対策費 特別交付税措置(8/10)								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×2.1人=19,950千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△10,251						△10,251	217,070
現計額	227,321						227,321	